

ハンドボール NO.4

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	ク
----------	---

年月日	2022 年 10 月 7 日 (金)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

公 式 記 録 用 紙

A	広島県										大阪府										B
都道府県		市町村		会場		回戦															
栃木県		野木町		野木町立野木中学校		2回戦															
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mXO- コンテスト	A	B							
7m得点/総数		A 1/3		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/1		7m得点/総数									
				1	2	後3	1	2	後3												
				2824	2419		0557	1349	2057												

No.	広島県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	大阪府	G	W	2'	2'	D	DR
1	山本春花							1	泉幸歩						
2	辻菜乃香	3	1					2	三原綺乃						
3	石川紗衣	4						3	丸本恵						
4	秋山静香	1						4	木村葵						
5	中西麻由香	3						5	成松沙弥佳	1					
6	南夏津美	3	1					6	橋本南	2		1			
7	加納穂伽	2						7	平田ほのか	3		1	1		
8	田淵美沙							8	横山さら	3					
9	三橋未来	5						9	上田遥歌	1	1	1			
10	安藤かよこ	1	1					10	川崎美穂				1		
11	高木奈央	3						11	西川千華	4		1			
12	櫻和奏							12	前田優						
監督A		中山剛						監督A		山崎英幸					
役員B		大前典子						役員B		山川由加					
役員C		狩野弥生						役員C		花野相三					
役員D		池田彩乃						役員D		築田順子					

A	(P山岡)	チーム役員A署名	山崎英幸	B
---	-------	----------	------	---

特記事項

レフェリー	國澤隆	江田優紀	國澤隆	江田優紀
TD	大塚清彦	塚田薫宣	大塚清彦	塚田薫宣
MO	平松裕		平松裕	

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月7日(金)	試合番号	E-ク	回戦	2回戦
種別	成年女子	会場	野木町立野木中学校体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
広島県			大阪府		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	12	前半	9	14	
	13	後半	5		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

本大会の初戦となる広島と、前日に栃木を倒し勝ち上がってきた大阪との2回戦は、大阪のスローオフで始まった。立ち上がりから広島⑨三橋、大阪⑩西川のゴールで点を取り合う展開になったが、そこから広島が⑥南、③石川らの速攻で4連続得点して5対1とリードを奪い、流れをつかんだ。5分、大阪はタイムアウトを取り、⑦平田が7mTを決めてリズムを取り戻すと、そこからお互いに一進一退の攻防が続く。中盤、広島は②辻を中心にセットオフENSからの得点を重ねて9対4とリードを広げるが、大阪は⑨上田のポストシュート、⑦平田のミドルシュート、⑩西川の右サイドシュートにより3連続で得点し、2点差まで詰め寄った。18分からの6分間はお互いに点を奪えず、我慢の展開となった。ゲームは膠着した状態のまま終盤にセットオフENSからの点数を積み重ね、12対9の広島3点リードで前半を終えた。

後半は、開始早々、大阪⑩西川の速攻が決まり、大阪がリズムをつかみかけたが、広島は⑩安藤の粘り強いプレーでゴールを奪い、大阪の追い上げを許さない。その後5分間、両チームとも点が奪えず、ゲームは中盤に入る。大阪は⑥橋本、⑨横山の得点で16対13と再度詰め寄ったが、17分、試合の均衡が崩れる。激しい攻防が続く中、大阪の退場が続くと、徐々に広島ペースの試合展開になっていった。数的に不利な大阪は、必死に広島への攻撃を食い止めようと懸命にディフェンスし、GK①泉の好セーブもあったが、広島は攻撃がそれを上回り、⑩高木のミドルシュート、⑨三橋のサイドシュート、⑤中西や⑦加納の速攻により次々にゴールを奪い、点差を広げていった。大阪は最後まで粘り強く戦ったが、広島が終盤まで安定した攻守を展開し、勝利した。

記載者氏名

青木 圭

送信日時

10月7日(金) 11:05